

CONTENTS

- 685 活動の質の向上を目指そうー会長就任にあたってー 益田隆司
Towards the Improvement of Our Activities Takashi MASUDA (The Univ. of Electro-Communications)

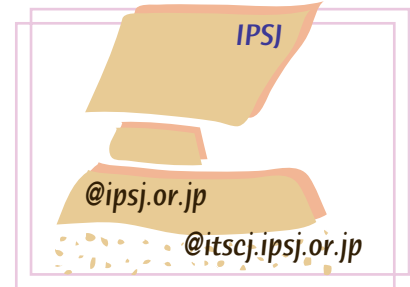
特集 Special Features

Web ダイナミクス

ー膨大で動的な Web 情報の知的処理に向けてー

Web Dynamics

- 688 編集にあたって 村田剛志・山田誠二
Foreword Tsuyoshi MURATA (National Institute of Informatics) and Seiji YAMADA (National Institute of Informatics)
- 689 Web 適応ーアクセスに基づく Web のダイナミックな変化ー 清光英成
Web Adaptation Hidenari KIYOMITSU (Kobe Univ.)
- 696 Web 上の情報推薦システム 寺野隆雄
Information Recommendation System on the Web Takao TERANO (Univ. of Tsukuba)
- 702 Web コミュニティ 村田剛志
Web Communities Tsuyoshi MURATA (National Institute of Informatics)
- 707 Web における情報統合ーセマンティック Web と Web サービスー 浦本直彦
Information Integration on the Web - Semantic Web and Web Services - Naohiko URAMOTO (IBM Research / National Institute of Informatics)
- 713 Web 更新モニタリング 山田誠二
Update Monitoring in the Web Seiji YAMADA (National Institute of Informatics)
- 720 Web 情報ストリーム 高間康史
Web Information Stream Yasufumi TAKAMA (Tokyo Metropolitan Institute of Technology)



解説 Articles

- 726 視線を用いたインタフェース 大野健彦
Gaze-Based Interface System Takehiko OHNO (NTT Corp.)
- 733 失敗知識データベース構築の試み 畑村洋太郎・中尾政之・飯野謙次
Prototyping a Failure Knowledge Database Yotaro HATAMURA (Japan Science and Technology Corp. / Kogakuin Univ.), Masayuki NAKAO (The Univ. of Tokyo) and Kenji IINO (SYDROSE LP)

- 743 XML 誕生秘話 形式言語理論とXML 村田 真
Inside Story of the Inception of XML : Inside Story of the Inception of XML (4) Makoto MURATA (IBM Tokyo Research Lab. / International Univ. of Japan)
- 747 とつきよ Now ! 国際特許戦略 高倉成男
Patent Now ! : Patenting Abroad Shigeo TAKAKURA (Japan Patent Office)
- 755 プログラム・プロムナード ハフマン符号を解く 田中哲朗
Program Promenade : Dehuff Tetsuro TANAKA (The Univ. of Tokyo)
- 766 日本の情報処理技術の足跡 情報処理学会における情報技術標準化活動の足跡と展開
棟上昭男
The Trail of the Information Processing Technology in Japan : History and Deployment of the Information Technology Standardization Activity in the Information Processing Society of Japan Akio TOJO (Tokyo Univ. of Technology / Information Technology Standards Commission of Japan of IPSJ)

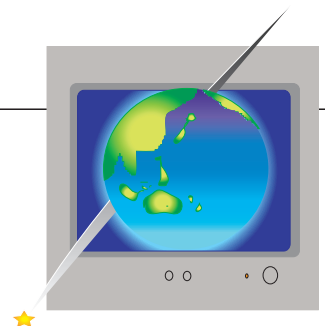
- 751 IT ルネサンスのために：ヒューマンインタフェースの復権を 感動をあなたに 土井美和子
Toward the IT Renaissance : May "Human Interface" Emerge! : Touch and Impress you Miwako DOI (Toshiba Corp.)
- 763 情報技術と教育 日本人情報技術者のレベルは世界最低？ 大岩 元
Information Technology and Education : Worst in the World is the Level of Japanese IT Engineers? Hajime OHIWA (Keio Univ. / Former Chairperson of Education Committee of IPSJ)
- 764 20 世紀の名著名論 Prominent Books and Articles in the 20th Century
J. L. Hennessy and D. A. Patterson: Computer Architecture: A Quantitative Approach 天野英晴
J. L. Hennessy and D. A. Patterson: Computer Architecture: A Quantitative Approach Hideharu AMANO (Keio Univ.)
- 765 20 世紀の名著名論 Prominent Books and Articles in the 20th Century
Richard M. Stallman: The GNU Manifesto g 新部 裕
Richard M. Stallman : The GNU Manifesto Yutaka NIIBE (The Free Software Initiative of Japan (FSIJ) / AIST)
- 772 モバイルは今 環境を持ち歩くか、遠隔地の環境を使うか 楯岡孝道
Mobile Technologies, Now : Carrying Environments, or Using Remote Environments Takamichi TATEOKA (Univ. of Electro-Communications)
- 774 日本のIT事情 温故知新—すべての分野とかかわるIT, 他から学ぶことも多い— ひろのかずお
Information Technology in Japan : Living Past for Creative Innovation Kazuo HIRONO (Tech-Journalist)
- 776 アメリカITまわりの話題 税金のソフト 湯浅 敬
IT Topics in the US : Tax Software Kei YUASA (Hewlett-Packard Labs.)

会議レポート 780 SACSIS2003
Conference Report

トピックス 740 6合目まできたコンピュータ将棋の実力 小谷善行
Topics

その他

- | | |
|----------------|---------------------|
| 778 著者紹介一覧 | 786 人材募集 |
| 779 おふいすらん | 793 有料会告 |
| 781 有料会告について | 794 アンケート用紙 |
| 782 会員の広場 | 795 編集室 / 次号予定目次 |
| 784 IPSJ カレンダー | 796 掲載広告カタログ・資料請求用紙 |



編集系独白

新会長の抱負を巻頭に掲ぐ。活力ある学会活動を期して乞う、心して精読熟読されんことを。

特集「Web ダイナミクス—膨大で動的な Web 情報の知的処理に向けて—」(村田剛志, 山田誠二)は、見る側の特性に合わせ、あるいは他のウェブページとのかかわりも入れて、ウェブの見せ方を変える話だ。携帯電話でウェブが見えることさえ驚きたが、ウェブのアーカイブを知らぬうちにとられているとは油断も隙もない世界になりつつある。

新コラム「情報技術と教育」はまず情報処理教育委員会の前委員長大岩元による「日本人情報技術者のレベルは世界最低?」. なにか手を打つ必要あり。それが「ハッカーの甲子園」(クラッカーのこと)ではいかがなものか。悪く言えばハイテク空き巣を奨励、養成するやにみえる。

悲観材料のみにあらず。ACM 国際大学対抗プログラミングコンテストは今年 3 月の世界大会で、東大チームが 11 位に入る。2000 年に京大チームが 7 位を得て以来の日本勢の快挙だ。その問題を話題とするプログラム・プロムナードは田中哲朗の「ハフマン符号を解く」。文字の出現頻度は云々せぬから、Huffman 符号というより、単に語頭符号なのだが。

失敗学会を立ち上げた畑村洋太郎ほか「失敗知識データベース構築の試み」を解説する。日常の繰返し作業でも失敗することがあるが、新しいことに挑戦すると、いろいろ間違える。過去の失敗例を検索しやすくデータベース化した話である。失敗から学ばぬのはメタ失敗なのかな。

その昔、視線検出を学生と実験した編集子には大野健彦の「視線を用いたインタフェース」が興味深い。問題は眼から漫画の如き破線が出ぬことだ。Midas Touch Problem!? おお怖わ。

小谷善行の「6 合目まできたコンピュータ将棋の実力」はコンピュータ将棋選手権の報告。プロの勝又五段が二枚落で東大将棋と対戦した棋譜が貴重だ。勝敗は本文を読まれたし。

今月のとっきよ Now! で高倉成男は「国際特許戦略」で、なぜ海外特許をとらなければならぬか、海外特許はいかにしてとるかなど、詳述する。

歴史の連載は情報規格調査会会長棟上昭男による「情報処理学会における情報技術標準化活動の足跡と展開」を載せた。本学会は工業技術院から委託を受け、情報技術関係の標準化を担当してきた。文字コードが垣務の SC2 は今や日本が幹事国であり、今昔の感に堪えず。

アメリカ文化はボストン、サンフランシスコ辺りに両極ありと断ぜば、CMU などには異論もあろうが、名著名論は g 新部裕が東は Stallman の GNU マニフェストを、天野英晴が西は Hennessy, Patterson のアーキテクチャの教科書、いわゆるヘネパタを紹介する。20 世紀の名著名論のはずがどうしてもアメリカの名著名論になりがちだが、仕方ないか。

XML 誕生秘話(村田真)は「形式言語理論と XML」で、用途別の DTD の定義ありなしで構文解析が困難になっている事情を説明する。委員会言語はえてして思わぬ事態を招くことがある。Algol68 の設計のころ、これこれの機能は便利そうだが、それをどう実装するかでよく議論になった。

日本の IT 事情はひろのかずおの「温故知新—すべての分野とかわる IT, 他から学ぶことは多い」は読んでみると、Turing 賞受賞講演集のさわりの紹介の様相を示す。講演を翻訳掲載した bit なき今、Turing 賞は疎遠になりつつある。

アメリカ IT まわりの話題は湯浅敬の「税金のソフト」。プライバシーが漏洩する理由が分からぬ。今年では日本でもインターネットで確定申告ができたそうだから、次回は挑戦するか。

モバイルの俳人、芭蕉は奥の細道へも「只身すがらにと出立侍」ったが、ファイルに取まる計算機環境は「路次の煩とな」らず、また「いかで都へと便求」めずともファイルは一瞬に転送でき、「環境を持ち歩くか、遠隔地の環境を使うか」(楯岡孝道)も今に問題にならなくなろう。

IT ルネサンスは土井美和子が「感動をあなたに」。以前は新しい光景に出会えば感動を覚えたのに、最近ではテレビの予備知識が災いし、感動の機会は少なくなった。こういう世の中で感動を与えるのは大変そう。(jrh)



会誌編集委員会

編集長

和田 英一

担当理事

丸山 宏

田中 穂積

本号エディタ

天野 真家

菊田 泰代

坂井 修一

永野 秀尚

平井 千秋

前田 敦司

村田 剛志

森川 直人

安信千津子

山崎 憲一

山田 誠二

編集スタッフ

後路 啓子

湯本 祐子

綿谷 亜樹

■ 44 巻 7 号掲載広告目次 (五十音順)

インタフェース…………… 前付 5
NRI セキュアテクノロジーズ… 表 2
オーム社…………… 前付 3
共立出版…………… 前付 2
ソフト・リサーチ・センター
…………… 前付最終上
日本データパシフィック…………… 前付 4

日本パーソナルコンピュータ
…………… 表 2 対向
日本バイナリー…………… 目次前
培風館…………… 前付最終下
日立製作所…………… 表 4
連続セミナー 2003…………… 表 3

*掲載広告のカタログ・資料をご希望の方は、お名前、電話番号、勤務先または学校名を明記の上、E-mailまたは Fax にてご請求ください。

広告総代理店 (株) 精機通信社
E-mail:sei@ss-com.co.jp
Fax(03)3368-1519